

(社)日本ガス協会 平成29年度「地方都市ガス事業者向け技術開発テーマ」

PE管敷地内先行配管作業の安全化・効率化を実現! (特許出願中)

# 地境最小化継手

新発売

スピゴットキャップ30A

ソケットサーチャー30A



## スピゴットキャップ30A



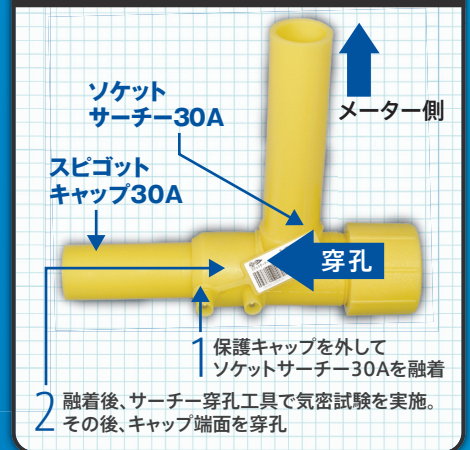
保護キャップ

継手本体

## ソケットサーチャー30A



## 再使用時の接続方法



異径EF継手を使用することで**25A配管に対応!**

## 地境最小化継手の特長

- ・再使用時(延長時)の**スクイズオフ工具が不要!**
- ・融着部の**気密試験が可能**  
(融着部の健全性確認がより確実に出来ます)
- ・設置延長が従来の長さより**大幅に短縮可能!**  
(敷地境界からの突き出し寸法が、最小で10cm程度まで短縮可能)

他工事への影響リスクを  
大幅に低減  
**業務の効率化を  
実現可能!**

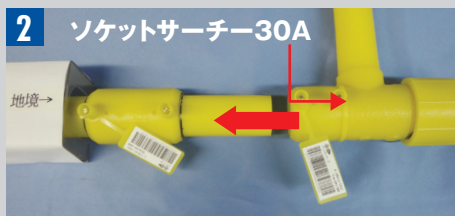
## 施工例 (敷地内施工先行管を水平設置後、将来再使用する場合)



スピゴットキャップ30A

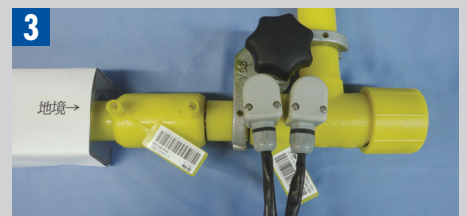
敷地内先行管を敷地境界から最小距離でEFソケット30にてスピゴットキャップ30Aを接続する。

※取り出し工事完了までは保護キャップを外さない  
※スピゴットキャップ30Aを反対に接続しない

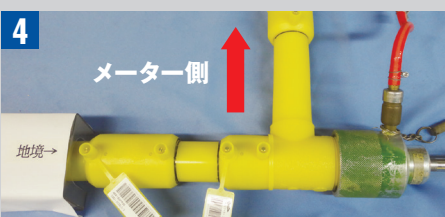


ソケットサーチャー30A

延長施工時は、スピゴットキャップ30Aの保護キャップを外し、スクレップ作業した後、ソケットサーチャー30Aを装着する。



エルボ専用クランプにてソケットサーチャー30Aをクランプ後、EFコントローラで融着作業を行う。



メーター側

メーター側配管の施工後、ソケットサーチャー30Aのキャップを外し、管軸サーチャー30用穿孔工具をセットし、検圧口からメーター側配管の気密試験を行う。



穿孔

気密試験の合格確認後、管軸サーチャー30用穿孔工具にてスピゴットキャップ30Aの穿孔作業を行う。

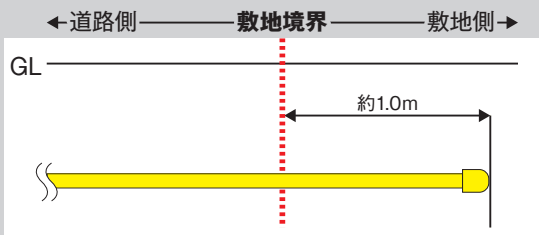


穿孔後は通常のサーチャーと同じ作業を行い、作業を終了する。

# 従来工法との違い

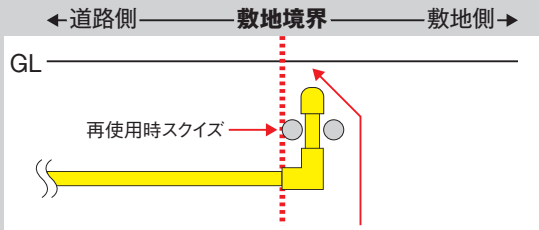
## 従来方法

敷地内先行管(水平設置)



再使用時、スクイズオフ工具の作業空間を確保する必要から約1mの先行管の埋設が必要。

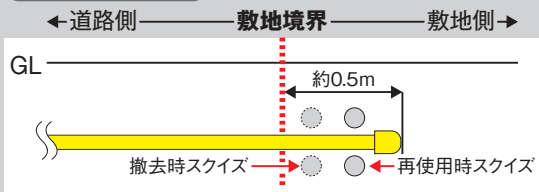
敷地内先行管(垂直設置)



再使用時、スクイズオフ工具の作業空間を確保するため、キャップ継手とGLとの距離を殆ど確保できない場合もある。

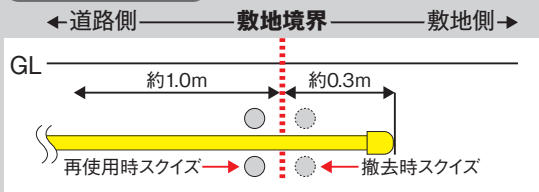
敷地内切断

### 通常時中間撤去



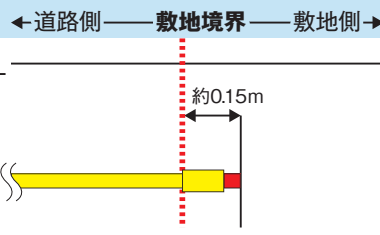
再使用時、スクイズオフ工具の作業空間を確保するため、敷地境界から約50cmの残置管延長となる。

### 残地部最短撤去時

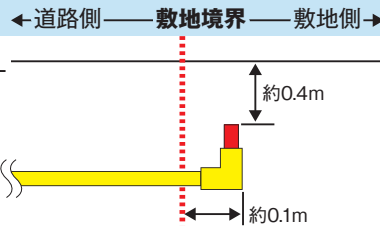
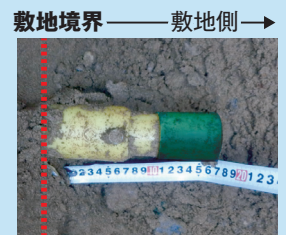


再使用時、スクイズオフ工具の作業空間を確保するため、道路側掘削が必要となる。

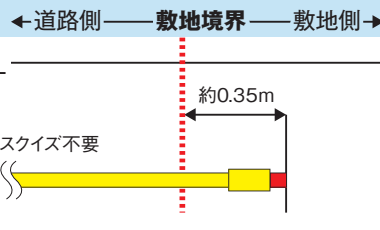
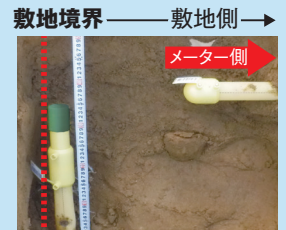
## 地境最小化継手による工法



敷地境界線から、ソケット継手+スピゴットキャップを約15cm突き出して設置が可能。※接続部のみの突出でも施工が可能で、最短では約5cmまで短縮可能。



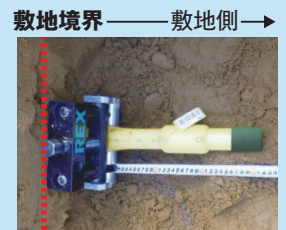
敷地境界線から最小10cm程度まで短縮可能。スピゴットキャップの設置位置が、通常埋設深度から10cm程度深く出来るので、その後の取出し施工時に宅地内配管とスムーズな接続が可能となる。



敷地境界線ギリギリでスクイズし、スピゴットキャップ止める事で、約35cmの残置管延長となる。エルボを使用した場合は30cm以内に収まる。

※30cm以下にすると敷地内他工事損傷リスクが低減する。

取出し施工時にも再スクイズが不要な為、道路側の掘削の必要もなくなる。



### 【ご使用に際しての注意】

■ 施工にあたっては、ガス事業法、日本ガス協会発行の「ガス用ポリエチレン管接合作業及び教育訓練マニュアル」の内容を遵守してください。 ■ スピゴットキャップ30Aの保護キャップは埋設土から管を保護するためのものです。その後の取出し施工時まで外さないでください。 ■ ソケットサーチャー30Aの融着の際は既存のエルボ専用クランプをご使用ください。 ■ ソケットサーチャー30Aの穿孔工具は管軸サーチャー30用の工具をご使用ください。 ■ 本リーフレット記載内容は、ガス導管用途の通常の取扱いを対象としたものです。製品を対象用途以外に使用しないでください。 ■ 本リーフレット記載の数値は代表値であり規格値ではありません。



## 三井化学産資株式会社

本社 管材事業部 ガスパイプ部  
〒113-0034 東京都文京区湯島 3-39-10 上野THビル  
電話 03-3837-0351 FAX 03-3837-1585

大阪支店 管材グループ  
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-11-7 信濃橋三井ビル  
電話 06-6446-3634 FAX 06-6446-3654

福岡支店 〒801-0001 福岡市中央区天神 2-14-13 天神三井ビル  
電話 092-752-0766 FAX 092-752-0769

技術サービス 大竹事業所 開発部  
〒739-0601 広島県大竹市東栄 2-1-21  
電話 0827-53-9186 FAX 0827-53-8876